

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】横手市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
18	2007.3.29			秋田県	横手市	103,600	693.59
構想の要約		家畜排せつ物、生ごみをメタン発酵によるエネルギーとして利用するとともに堆肥製造を行い、農産物の産地形成を目指す。また稲をまるごと利用して工業用原料の生成を行い農用地の有効利用を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		メタン発酵施設プラント設置検討・事業化 木質バイオマスガス化発電 ポリ乳酸(PLA)・エタノール原料生成事業化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造	○	ガス化	○
その他(マルチ)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

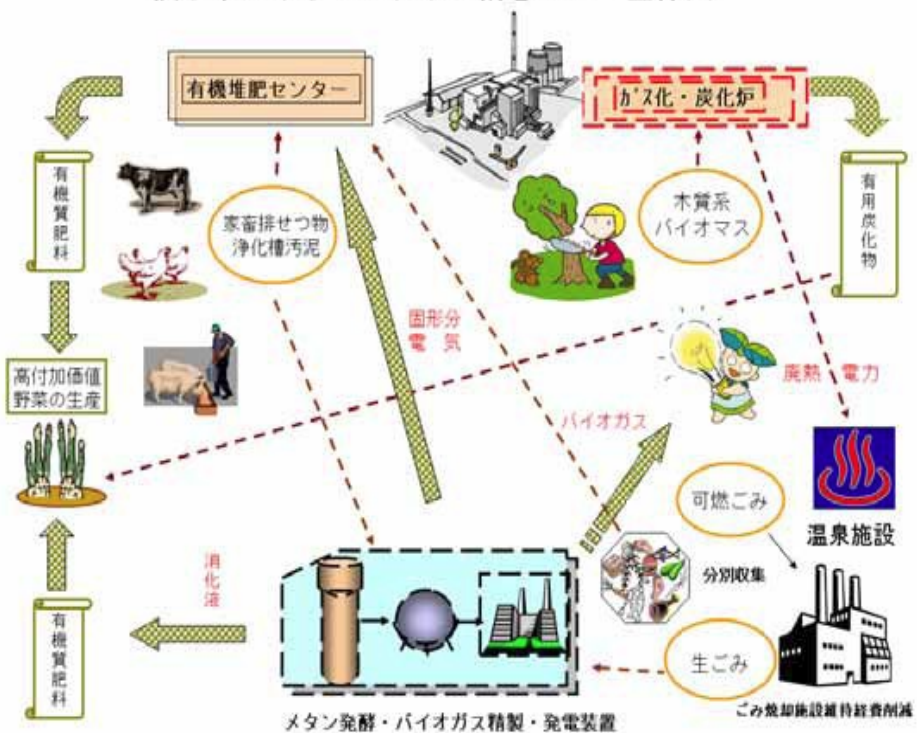
バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	現在の利活用状況	利用率	利活用目標	目標値
廃棄物系バイオマス			83%		90%
生ごみ	5,652t	堆肥化 207t	4%	堆肥化 1,500t メタン発酵 2,500t	71%
集排・浄化槽汚泥	1,630t	焼却・コンポスト	1%	堆肥化及びガス化 800t	49%
家畜排せつ物	147,470t	堆肥化 128,410t	87%	有機センター処理量の向上・ガス化 135,000t	92%
野菜等残さ (アスハラガス)	80t	健康有用物質生成 40t	50%	健康有用物質生成 80t	100%
未利用バイオマス			16%		73%
果樹剪定枝・間伐材等	15,139t	チップ・おが粉・ハーク堆肥 2,680t	18%	素材利用・エネルギー利用 4,480t	30%
稲わら	76,392t	畜舎敷料等 3,743t	5%	畜舎敷料・粗飼料・バイオエタノール・PLA	80%
籾殻	15,593t	くん炭、排水改善資材 10,630t	68%	堆肥・くん炭 畜舎敷料他	68%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

横手市バイオマスタウン構想フロー全体図



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--